



MR2041 シリーズ ハンディロガー データ読み取りソフトウェア Version 5.00 取扱説明書

INSTRUCTIONS

この取扱説明書は、必ず本製品の近くに
大切に保管してください。

LOG01

マーク	No.	記録日時	CH1 [°C]	CH2
	1	2008/04/10 14:22:10	23.1	
	2	2008/04/10 14:22:11	23.1	
	3	2008/04/10 14:22:12	23.1	
	4	2008/04/10 14:22:13	23.1	
	5	2008/04/10 14:22:14	23.1	
	6	2008/04/10 14:22:15	23.1	
	7	2008/04/10 14:22:16	23.1	
*	8	2008/04/10 14:22:17	▼ 23.0	
	9	2008/04/10 14:22:18	▼ 23.0	
	10	2008/04/10 14:22:19	▼ 23.0	
	11	2008/04/10 14:22:20	▼ 23.0	

	CH1 [°C]	CH2
最大値	23.2	
最小値	23.0	
平均値	23.1	
精度値 [mV]	0.9	0.9
上限警報値	0	0
下限警報値	0	0

CH	上限界値	下限界値	最大値	最小値	平均値	精度値	精度
CH1 [°C]	0	0	23.2	23.0	23.1	0.9	温度1
CH2 [°C]	0	0	23.7	23.2	23.5	0.9	温度2
CH3 [°C]	0	0	25.0	23.4	23.2	1.2	温度3
CH4 [°C]	0	0	24.5	23.2	23.5	1.2	温度4

はじめに

このたびはハンディロガー・データ読み取りソフトウェアをお買い上げ頂きありがとうございます。本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を十分お読みになり、正しい取扱方法や注意事項をご確認ください。またお読みになった後も、本書を大切に保管してください。

■ご使用になる前に

本製品を開封したら、すぐに梱包内容をご確認ください。不足している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

名 称	数 量
通信ケーブル（USB ケーブル）	1
ソフトウェア CD	1
取扱説明書（本書）	1

■この取扱説明書について

- ・この取扱説明書の一部又は全部を、無断で転載、記載することは固くお断りします。
- ・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書に記載の図は、強調、簡素化および省略している場合があります。
- ・本書の内容について、もしご不審な点や誤記／記載もれなどがございましたら、お買い求めの販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- ・本文中に使われている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

■免責について

- ・本製品の使用により、お客様または第三者が損害およびいかなる間接的損害に対しても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■動作環境

- 対応機種 : DOS/V 互換機
- OS : 日本語 Windows XP sp3 以降 または Windows Vista (x86) sp2 以降、
Windows 7 (x86/x64)、Windows 8 (x86/x64) が正常に動作する環境
- ※ : インストール時のアカウントが Administrator (管理者) 権限を持っている必要があります
- 通信ポート : RS-232C 準拠 (COM) または USB1.1/2.0 準拠の通信ポートを 1 つ
- ハードディスク : インストールに必要な空き容量 150MB 以上
- メモリ : 64MB 以上 (128MB 以上を推奨)
- CPU : Pentium II/333MHz 相当以上
- プリンタ : 上記 OS で正常に動作する事
- プリンタドライバ : 上記 OS でプリンタを正常に機能させる事が可能なドライバ
- メモリカード : マルチメディアカード (2GB まで)
- メモリカードリーダー : マルチメディアカードが正常に読み込み/書き込みが可能な事

- ・「Microsoft」、「Windows」、「Internet Explorer」は、米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。
- ・「Intel」、「Pentium」は、米国 Intel 社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

- 本書で示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しておりますので、十分ご理解のうえ、必ず守ってください。
- この取扱説明書では、本製品を安全にご使用いただくために、次のような表示と記号で注意事項を示しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、 死亡 または 重傷 を負う可能性が想定される場合を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、 軽傷 を負う可能性が想定される場合および 物的損害 の発生が想定される場合を示します。

【安全上のご注意】

警告

- 通信ケーブルを本来の用途以外に使用しないでください。
- 通信ケーブルの接続は濡れた手で行わないでください。感電する恐れがあります。
- 通信ケーブルを接続する時は、ロガー本体および通信ケーブルが濡れたまま行わないでください。感電またはショートによる発火の恐れがあります。
- 通信ケーブルを接続した状態では、ロガー本体や通信ケーブルに水などがかからないようにご注意ください。感電またはショートによる発火の恐れがあります。

注意

- 通信ケーブルやCDを直射日光の当たる場所や高温な場所に近づけないでください。また長時間高温となる車内などに放置しないでください。変色や変形および破損の恐れがあります。

- 本製品と併せてご使用になる製品を取り扱う際も、本書の安全に関する指示事項に従ってください。これらの指示事項に反する扱いをされた場合、弊社は安全性を保証いたしません。

使用上のご注意

- CDの保管は、直射日光を避けて、埃・ゴミや水などの液体が付着しないように注意してください。
- CDのお取り扱いには十分ご注意ください。データ面およびレーベル面にキズが付くとデータの読み取りができなくなります。
- 通信ケーブルには無理な負荷をかけないようにお取り扱いください。ケーブルの着脱はコネクタ部を持ってまっすぐ挿入または引き抜いてください。ケーブルやロガー本体を破損する恐れがあります。
- 通信ケーブルを水などで濡らさないでください。濡れた場合は十分乾燥してから使用してください。
- 通信ケーブルを接続した状態では、ロガーや通信ケーブルに水などがかからないようにご注意ください。接続中はロガー本体の防水機能が得られません。
- テレビや電子レンジ、無線機などの強い静電気や電磁波を発生するものに近づけないでください。誤動作や故障の原因になります。

目次

はじめに	I
・ ご使用になる前に	
・ この取扱説明書について	
・ 免責について	
・ 動作環境	
安全上のご注意／使用上のご注意	II
■ご利用までの準備	1
■ソフトウェアのインストール	2
■ソフトウェアの削除	8
■ロガーとの接続(USB の場合)	10
■ロガーとの接続(RS-232C の場合)	11
■ソフトウェアの起動	12
■ソフトウェアの初期設定	13
■ソフトウェアの機能と表示	15
1. ロガーからデータを読み出す	16
2. データファイルを読み込む	17
3. データのファイル保存	18
◆データ表示【ログモード】	19
◆データ表示【タグモード】	20
◆グラフ表示（ログモードのみ）	21
■機能フロー	22
■トラブルシューティング	24

■ご利用までの準備

本ソフトウェアをご利用頂くための準備について解説します。

以前のバージョンのソフトウェアが
インストールされている場合

■ソフトウェアの
削除

本ソフトウェアをご利用のパソコンにインストールします

■ソフトウェアのインストール

USB 接続の場合

RS-232C 接続の場合

通信ケーブルでロガーとパソコンを接続します

■ロガーとの接続
(USBの場合)

■ロガーとの接続
(RS-232C の場合)

初期設定のためソフトウェアを起動します

■ソフトウェアの起動

通信ポートや通信速度の設定します

■ソフトウェアの初期設定

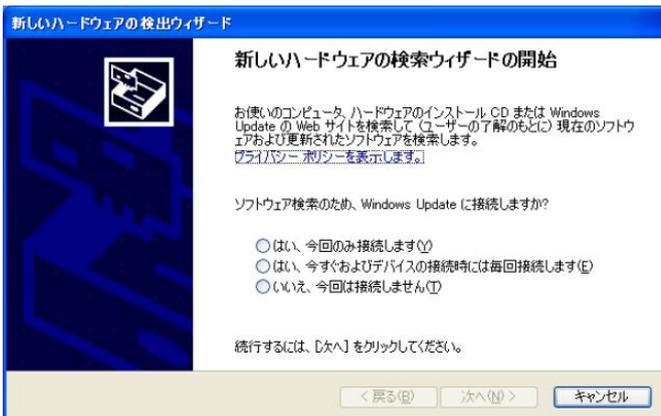
ご利用いただけます

■ソフトウェアのインストール

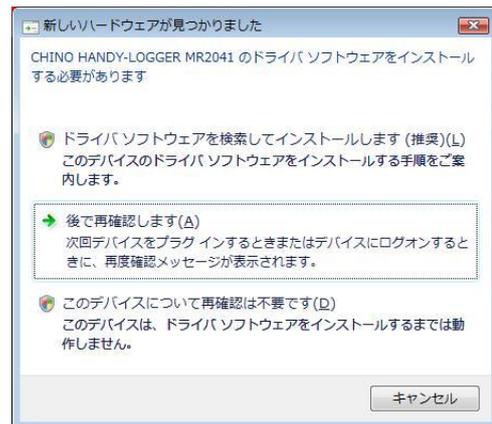
ソフトウェアのインストール手順を解説します。

1. パソコンを起動し、Windowsを立ち上げる

※本ソフトウェアを初めてご使用になる場合は、この段階で本体をUSBポートに接続しないでください。接続した場合は以下のメッセージが表示されますが、「キャンセル」または「後で再確認します」を選択してください。(Windows 7、8 は選択の必要はありません。)



【XP】



【Vista】

- ⚠ ・インストール時に他のアプリケーションが動作していると、影響を受ける場合がありますので起動しているアプリケーションはすべて終了しておいてください。
- ⚠ ・Windows Vista/7/8 をお使いの場合は、UAC制御機能により、インストーラの起動時に確認画面が表示される事があります。この画面が表示された場合は「許可」ボタンをクリックしてください。
- ⚠ ・以前のバージョンのハンディロガー・データ読み取りソフトウェアがインストールされている場合は、「■ソフトウェアの削除」を参考にアンインストールを行ってください。以前のバージョンのソフトウェアがインストールされていると、正常に動作しない場合があります。

2. CDドライブに付属のソフトウェアCDをセットする

自動でセットアッププログラムが起動します。



⚠️ CDをセットしてもインストールが始まらない場合はCDに収録されている「setup.exe」ファイルをダブルクリックして起動します。



以下の画面が表示された場合は「setup.exe の実行」をクリックしてください。

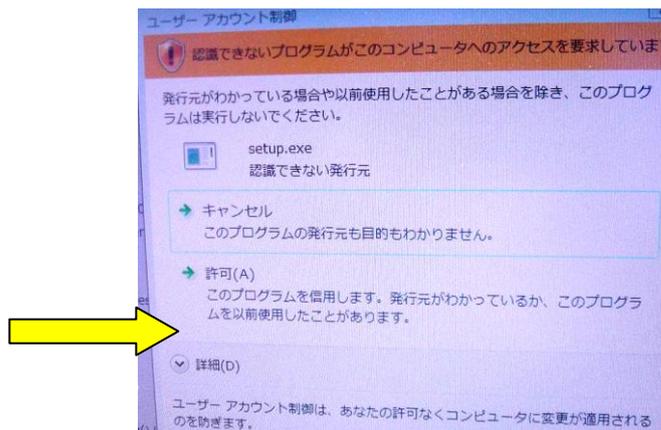


【Windows Vista 又は 7】



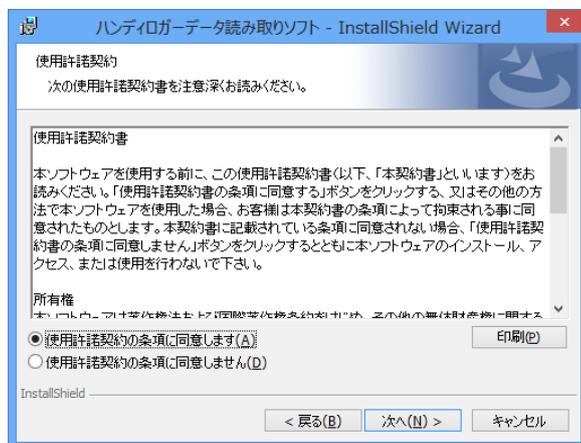
【Windows 8】

Windows Vista/7/8 をお使いの場合は、以下の画面が表示される事があります。「許可(A)」をクリックして次に進みインストールを実行してください。



3. 「使用許諾契約の確認」

使用許諾契約書をご確認の上、「同意します」を選択し次に進みます。



4. 「ユーザー情報の入力」

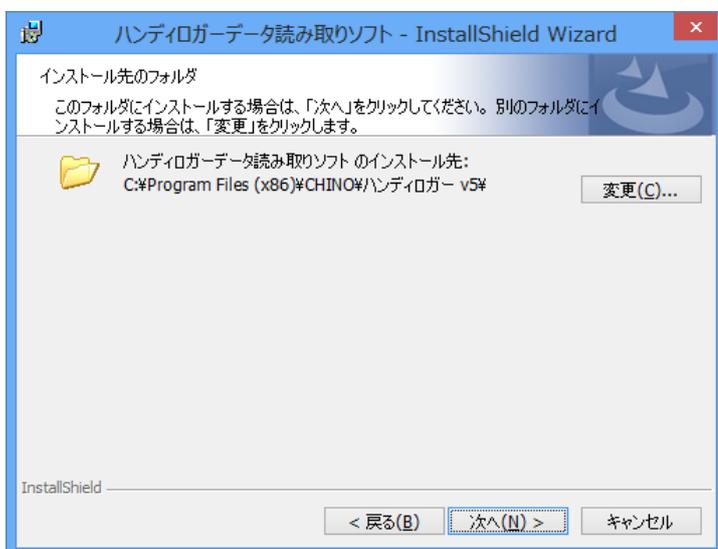
以下の画面を表示します。



ユーザー情報の入力を行います。既定ではログインしているユーザー情報が表示されます。「次へ」で先に進みます。

5. 「インストール フォルダの選択」

以下の画面を表示します。



インストールするフォルダを指定します。既定では「C:\Program Files\CHINO\ハンディロガー v5」が作成されて、ここにインストールされます。このままで良ければ「次へ」で先に進みます。

 表示されるドライブ番号（「C:\」など）は、ご使用のパソコンによって変わる場合があります。お使いのパソコン環境に合わせて読みかえてください。

6. 「セットアップタイプの確認」

以下の画面を表示します。「完全」を選択して、「次へ」をクリックしてください。



 「カスタム」はアプリケーション、又はUSBドライバを個別にインストールすることが可能ですが、両方インストールされていないとハンディロガー・データ読み取りソフトウェアは正常に動作しませんので注意してください。

7. 「インストールの確認」

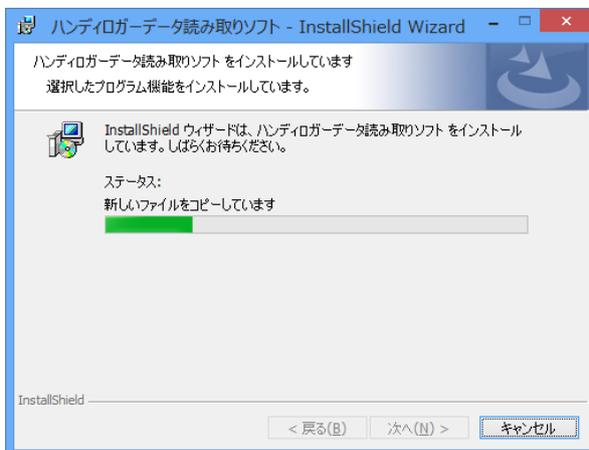
以下の確認画面が表示されます。「インストール」ボタンでインストールを開始します。



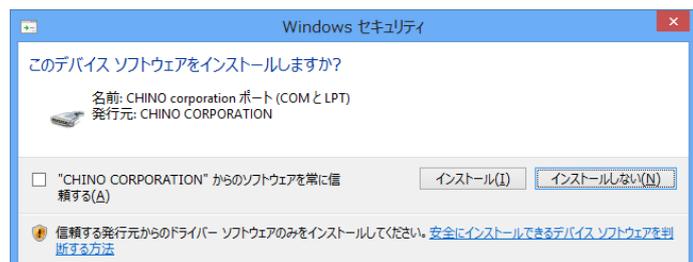
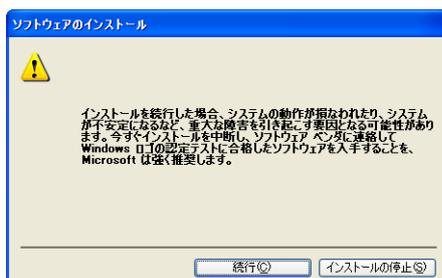
 インストール時に他のアプリケーションが動作していると、影響を受ける場合がありますので起動しているアプリケーションはすべて終了しておいてください。

8. 「ハンディロガー・・・をインストールしています」

インストールが始まります。



インストールの途中で、以下のどちらかの画面が表示されますが、「続行」または「インストール」をクリックしてください。



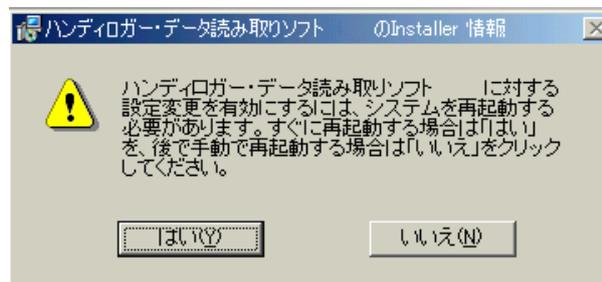
Windows XP で本体を接続しながらインストールを実行すると以下のメッセージが表示されますが、「続行」をクリックしてください。



インストールが終了すると以下の画面を表示します。確認したら「完了」ボタンを押して終了します。



 お使いのパソコンの状況によって以下の画面を表示する場合があります。指示に従ってパソコンを再起動してください。

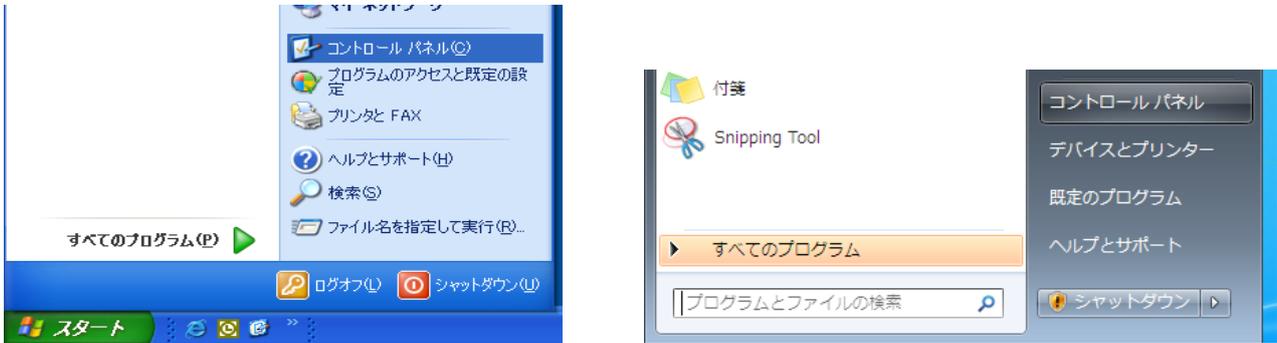


ソフトウェアの削除

パソコンから本ソフトウェアを削除（アンインストール）する方法を説明します。

1. 「スタート」ボタンから「コントロールパネル」を選択する

*Windows 8 の場合はそのまま次に進んでください。



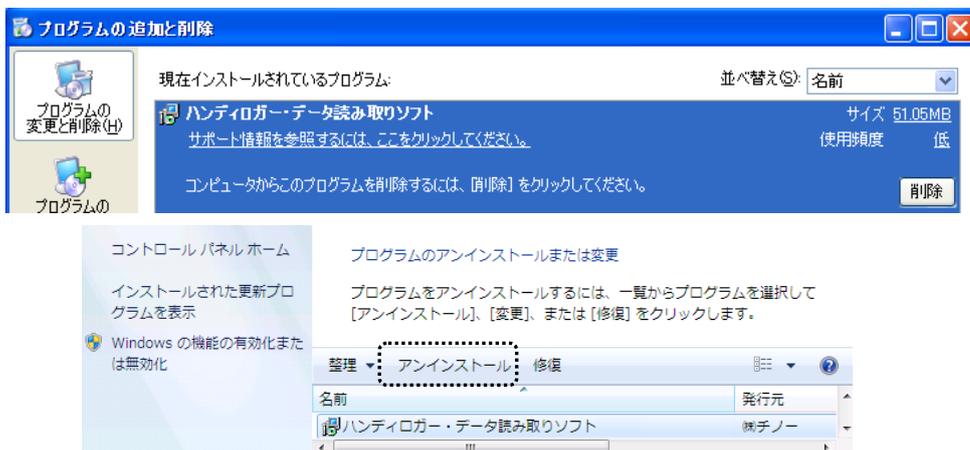
2. 「プログラムの追加と削除」(又は「プログラムのアンインストール」、「アンインストール」)を起動する



Windows8の場合は画面上にある「ハンディロガー・データ読み取りソフト」を右クリックして、画面下に表示されるメニューから「アンインストール」を選択します。

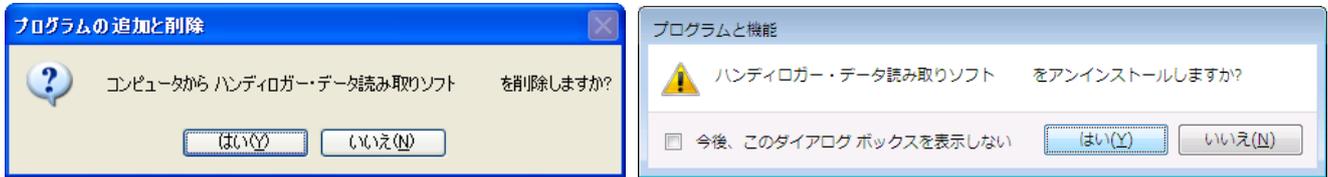


3. 「ハンディロガー・データ読み取りソフト」を選択して「削除」(Vista、7、8 では「アンインストール」)ボタンを押す



4. 削除するプログラム名を確認して「はい」ボタンを押す

削除が始まると以下のダイアログを表示し、完了すると「プログラムの追加と削除」ダイアログのリストから本ソフトウェアが削除されますので、ダイアログを閉じて終了します。



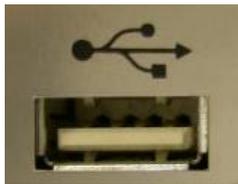
■ロガーとの接続（USB の場合）

ロガーと接続して通信を行うには、付属の通信ケーブルを使用します。

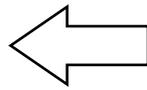
※MR2041 および MR2041-M をご使用の場合は、次項「■ロガーとの接続（RS-232C の場合）」をご参照ください

【パソコン側】 パソコンのUSBポートに通信ケーブルのAコネクタを接続する

⚠ 取り外すときはプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを引っ張らないでください。

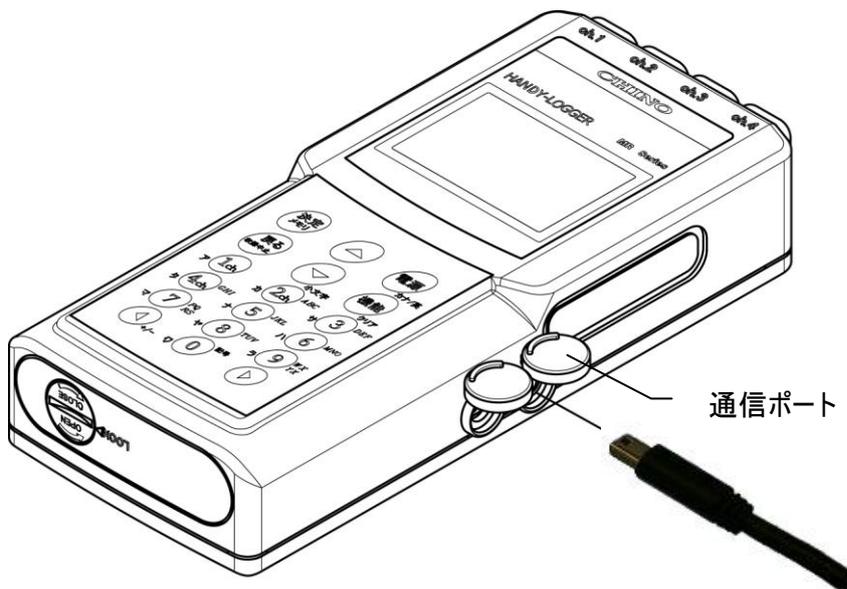


USBポート



Aコネクタ

【ロガー側】 ロガーの通信ポートに通信ケーブルのミニBコネクタを接続する



ミニBコネクタ

「PC」の刻印のある通信ポートの蓋を開け、ミニ B コネクタをポート内にしっかり奥まで挿入してください。



- ・取り外すときはプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを引っ張らないでください。
- ・接続には付属の通信ケーブルを使用してください。指定以外のものは使用しないでください。
- ・通信ケーブルの使用中には防滴性能は維持されません。
- ・通信ケーブルを使用しない時は、防滴性能を維持するために蓋をしっかり閉めてください。

ロガーとの接続 (RS-232C の場合)

ロガーと接続して通信を行うには、付属の通信ケーブルを使用します。

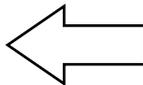
【パソコン側】 パソコンの COM ポートに通信ケーブルの DSUB9ピンコネクタを接続する



- ・通信ケーブルの接続はパソコンの電源を切ってから行ってください。
- ・取り外すときはプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを引っ張らないでください。

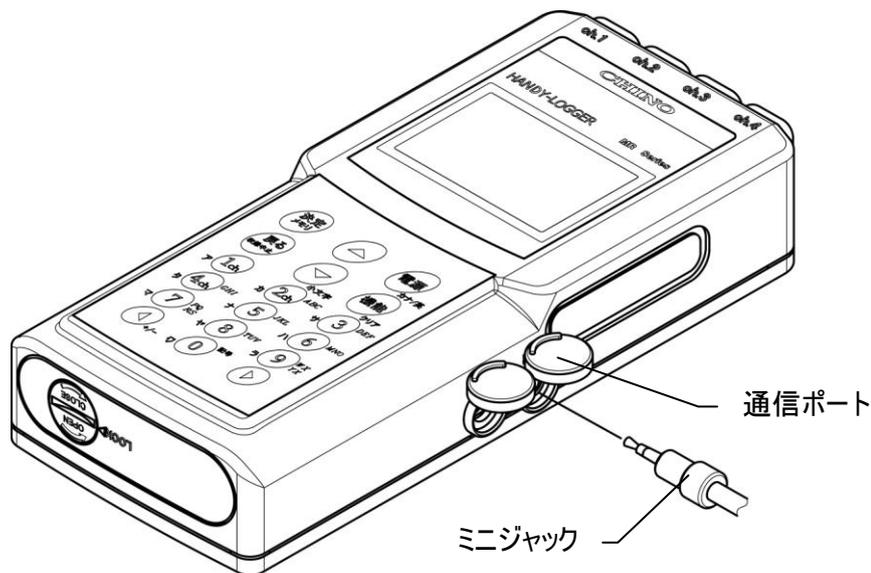


COM ポート



DSUB9ピンコネクタ

【ロガー側】 ロガーの通信ポート(図参照)に通信ケーブルのミニジャックを接続する



「232C」もしくは「PC」の刻印のある通信ポートの蓋を開け、ミニジャックをポート内にしっかり奥まで挿入してください。



- ・取り外すときはプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを引っ張らないでください。
- ・接続には付属の通信ケーブルを使用してください。指定以外のは使用しないでください。
- ・通信ケーブルの使用中には防滴性能は維持されません。
- ・通信ケーブルを使用しない時は、防滴性能を維持するために蓋をしっかり閉めてください。

ソフトウェアの起動

ソフトウェアの起動方法を説明します。

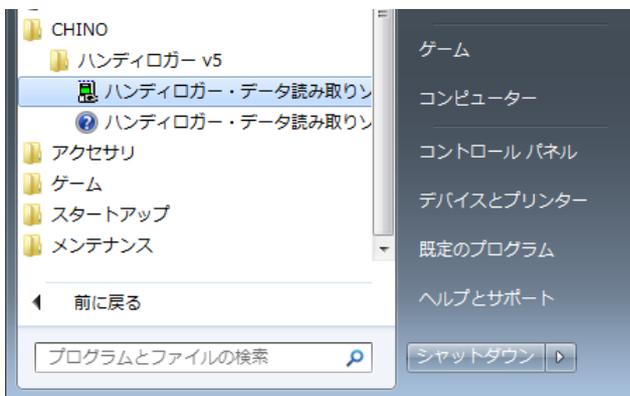
【方法1】デスクトップのアイコンをダブルクリックする



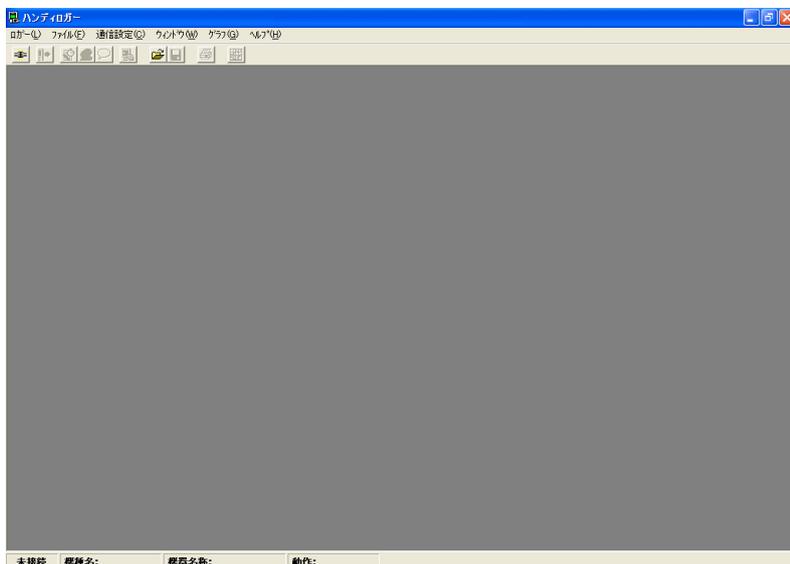
【方法2】データファイルをダブルクリックする



【方法3】「スタート」→「すべてのプログラム」→「CHINO」→「ハンディロガー v5」から選択する



以上でアプリケーションが起動します。



■ソフトウェアの初期設定

本ソフトウェアのインストールが終了したら、まず「通信設定」を行ってください。パソコンが使用する通信ポートを指定します。

1. ロガーとパソコンをケーブルで接続する

「■ロガーとの接続」の要領でロガーをパソコンと接続します。

またロガーを通信が可能な「通信モード」にしてください。

ロガーの表示画面に「ツウシン スタンバイ」が表示されていない場合は通信が出来ません。

【ロガーの準備】

①ロガーを通信ケーブルで正しく接続します。

②ロガーの電源を入れ通信モードにします。通信モードに移行するには

・ホーム画面を表示します。

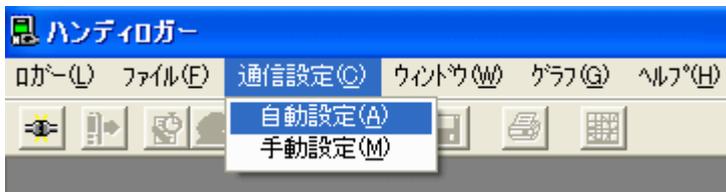
・「機能」キーを押して基本メニューを表示します。

・「▲」、「▼」キーで「ツウシン」を選択し、「決定」キーを押します。

以上でロガーの表示画面に「ツウシン スタンバイ」が表示され通信が可能となります。

2. 本ソフトウェアを起動する

3. メニューの「通信設定」→「自動設定」を選択する



4. ケーブル接続を確認して「OK」ボタンを押す



以上でソフトウェアがロガーの接続されている通信ポートを自動検索します。検索に成功すると以下のダイアログを表示します。(COM6に接続した場合)



 通信設定は一度行くとパソコンに保存されるので、次回より行う必要はありません。ただし以下の場合は再度通信設定を行う必要があります。

- ・本ソフトウェアをアンインストールして、再度インストールした場合
- ・ケーブルを接続する通信ポートを変更した場合
- ・パソコンにてポートが移動するような環境設定の変更があった場合

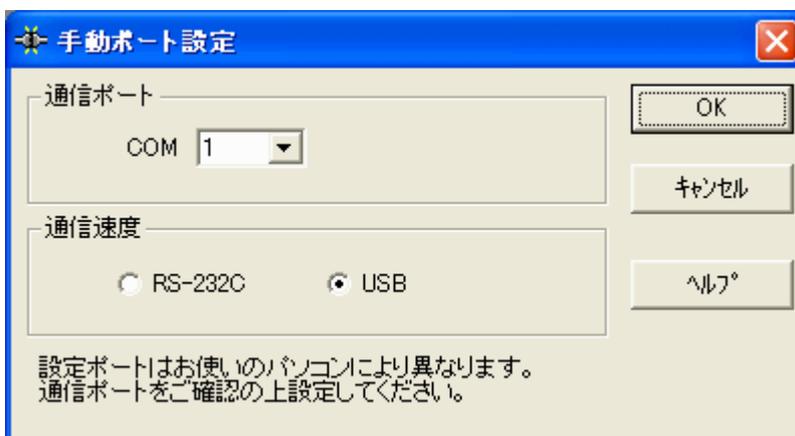
ケーブル接続やロガーの通信モードが正しく行われているのに接続に失敗した時は、再度、通信設定を行ってください。



× 自動設定が働かない場合



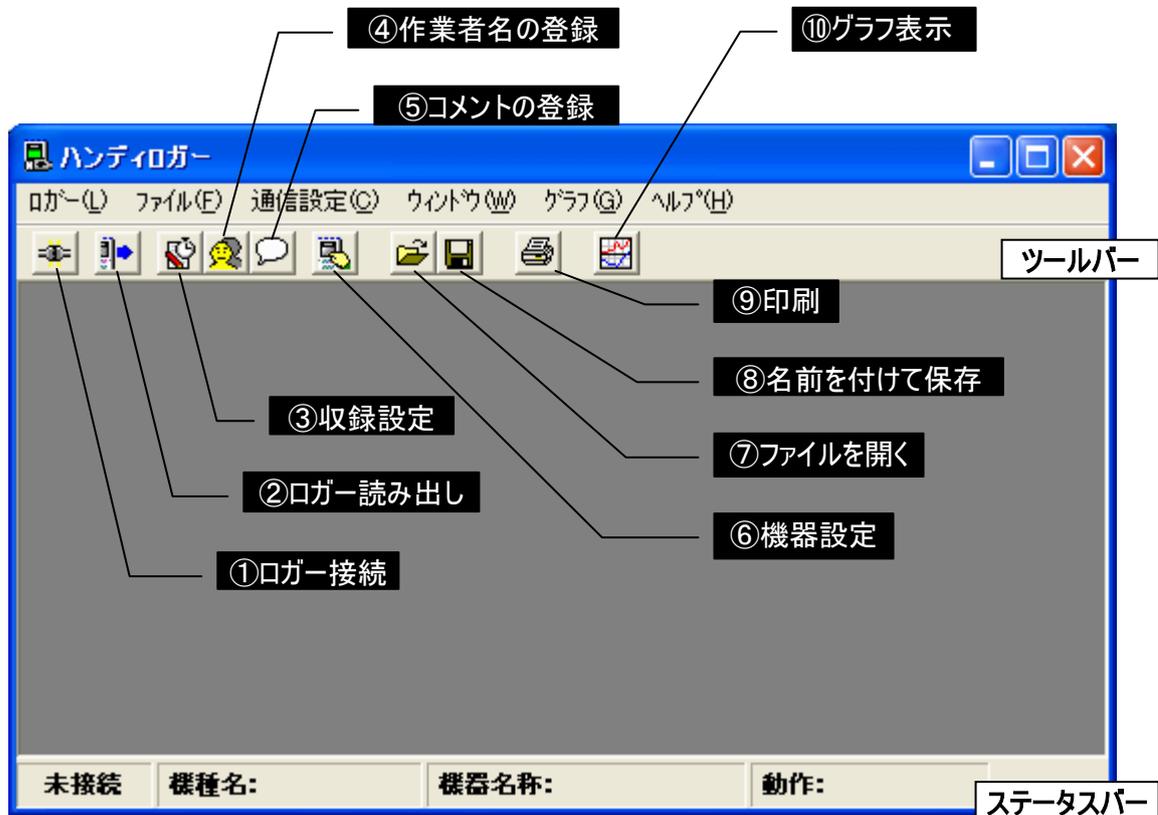
通信設定の自動設定で上記の表示が現れて通信ポートが見つからない場合は、「通信設定」→「手動設定」を行ってみてください。



ソフトウェアの機能と表示

本ソフトウェアの基本的な機能と表示を説明します。

機能・表示および操作の詳細はソフトウェアのヘルプを参照ください。



ツールバー

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ①ロガー接続 | ロガーとパソコンが通信可能な状態にする |
| ②ロガー読み出し | ロガーの収録データをパソコンに読み出す |
| ③収録設定 | 収録設定(ログ設定/タグ設定)を行い、ロガーに書き込む |
| ④作業名の登録 | 作業名を登録して、ロガーに書き込む |
| ⑤コメントの登録 | コメントを登録して、ロガーに書き込む |
| ⑥機器設定 | ロガーの設定を変更/書き込む |
| ⑦ファイルを開く | 保存されているファイルを読み込んで画面に表示する |
| ⑧名前を付けて保存 | 選択されている表示データを保存する |
| ⑨印刷 | 選択されている表示データを表形式で印刷する |
| ⑩グラフ表示 | 選択されている表示データのグラフを表示および印刷する |

ステータスバー

- | | |
|--------|---|
| 接続/未接続 | ロガーの接続状態 |
| 機種名 | 接続されているロガーの機種名 |
| 機器名称 | 接続されているロガーの機器名称 |
| 動作モード | 現在の動作モード(ログモード/タグモードおよびメモリモード※ ¹) |

※1: MR2041-Mまたは-MUの外部メモリモード

1. ロガーからデータを読み出す

ロガーから通信で収録データを読み出す場合は以下の手順で行います。

なお、メモ리카ードに直接収録したデータ(MR2041-M、MU)は、通信で読み出すことはできません。

「2. データファイルを読み込む」を参考にデータを読み込んでください。

1. メニューのロガー(L) →ロガー接続(J) を選択するか、ツールバーのロガー接続ボタン  を押して、ロガーを接続状態にします。

 **ロガーと通信するにはロガーを通信可能な「通信モード」にしてください。**

【ロガーの準備】

- ①ロガーを通信ケーブルで正しく接続します。
- ②ロガーの電源を入れ通信モードにします。通信モードに移行するには
 - ・ホーム画面を表示します。
 - ・「機能」キーを押して基本メニューを表示します。
 - ・「▲」、「▼」キーで[ツウシン]を選択し、「決定」キーを押します。

以上でロガーの表示画面に[ツウシン スタンバイ]が表示され通信が可能となります。

2. メニューのロガー(L) →ロガー読み出し(R) を選択するか、ツールバーのロガー読み出しボタン  を押して、「読み出すデータの選択」ダイアログを表示します。

 「ロガーとの接続が失われました。」と表示される場合は、再度メニューのロガー(L)→ロガー接続(J)を選択するか、ツールバーのロガー接続ボタン  を押して、ロガーを接続状態にしてください。

ログモードの場合

No.	ログ名	データ数	作業者	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	04101422	145	サキウツヤ1	コメント1
<input checked="" type="checkbox"/>	04101407	64		
<input checked="" type="checkbox"/>	04101413	3		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		
<input type="checkbox"/>		0		

タグモードの場合

No.	タグ名	データ数
<input checked="" type="checkbox"/>	TAG01	59
<input checked="" type="checkbox"/>	TAG02	46
<input checked="" type="checkbox"/>	TAG03	25
<input type="checkbox"/>		0

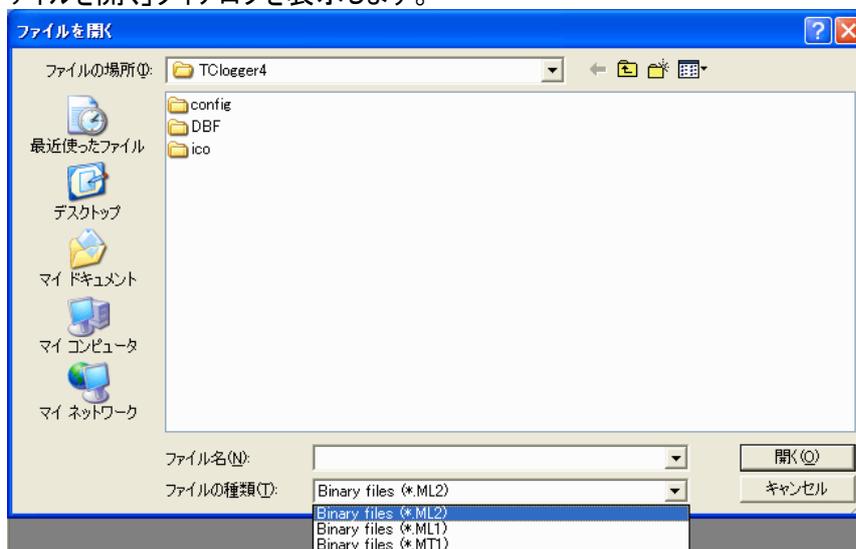
3. 読み出したいログまたはタグの「No.」チェックボックスをチェックしてOKボタンを押します。

2. データファイルを読み込む

メモリカード(マルチメディアカード)に直接収録したデータ、またはディスクにファイルとして保存してあるデータを読み込むには、以下の手順で行います。

 メモリカードに収録されたデータファイルを読み込むには、お使いのパーソナルコンピュータにマルチメディアカードが読み込みおよび書き込み可能なメモリスロットを持つか、または正常に動作するマルチメディアカードに対応したメモリカードリーダーが接続されている必要があります。マルチメディアカードの読み込みまたは書き込みが可能か確認するには、ご利用になるパーソナルコンピュータまたはメモリカードリーダーの取扱説明書をご確認ください。

1. メニューのファイル(F) →開く(O) を選択するか、ツールバーのファイルを開くボタン  を押して、「ファイルを開く」ダイアログを表示します。



2. 読み込みたいファイル形式を「ファイルの種類(T):」で選択します。
3. 読み込みたいファイルがある場所を「ファイルの場所(I):」で選択します。
4. 読み込みたいファイルを選択して「開く(O)」ボタンを押します。以上でファイルが読み込まれます。
→データを表示します。(「◆データ表示【ログモード】」または「◆データ表示【タグモード】」を参照)

読み込み可能なファイル形式

本ソフトウェアで読み込み可能なファイル形式は以下の通りです。

拡張子 ML1 : ログモードのデータファイル

ハンディロガーデータ読み取りソフトウェアバージョン1および2で保存したファイル形式

拡張子 ML2 : ログモードのデータファイル

メモリカードに直接収録したデータファイル。またはハンディロガーデータ読み取りソフトウェアバージョン3および4、5で保存したファイル形式

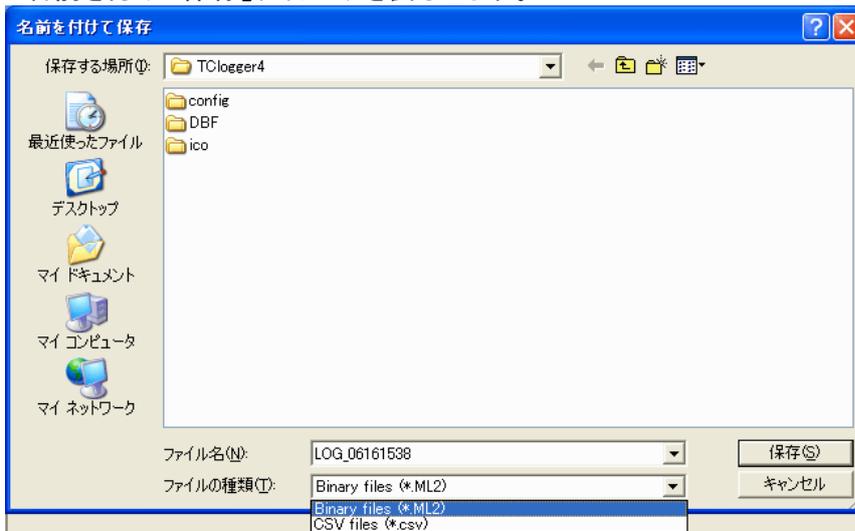
拡張子 MT1 : タグモードのデータファイル

 テキスト形式(拡張子 CSV)で保存したファイルは、本ソフトウェアで読み込むことはできません。テキスト形式で保存したファイルを開くには、対応したソフトウェアをお使いください。

3. データのファイル保存

本ソフトウェアに読み込んだデータをディスクに保存するには、以下の手順で行います。

1. グラフ表示画面が表示されている場合は、グラフ終了(X)でグラフ画面を閉じます。
2. 複数のデータが読み込まれてデータ表示されている場合は、保存したいデータを選択します。データを選択するには、メニューのウィンドウ(W) を選択して表示されるリストから選択するか、該当データの表示画面のタイトルバーをクリックします。
3. メニューのファイル(F) →名前を付けて保存(A) を選択するか、ツールバーの  ボタンを押して、「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。



4. 保存したいファイル形式を「ファイルの種類(T):」で選択します。
5. 保存したい場所を「保存する場所(I):」で選択します。
6. ファイル名を「ファイル名(N):」に入力して「保存(S)」ボタンを押します。以上でファイルが保存されます。

保存可能なファイル形式

本ソフトウェアで保存可能なファイル形式は以下の通りです。

拡張子 ML2 : ログモードのデータ専用形式ファイル

拡張子 MT1 : タグモードのデータ専用形式ファイル

拡張子 CSV : テキスト形式ファイル(ログモード/タグモードのどちらでも保存可能)



・テキスト形式(拡張子 CSV)は、ログモード/タグモードどちらでも選択できますが、ファイルのデータ内容は異なります。

・テキスト形式で保存したデータは本ソフトウェアで読み込むことはできません。大切なデータは専用形式での保存も併用されることをおすすめします。



・収録に使用しているメモ리카ードに保存しないでください。ロガーにおいてメモリ残量を正しく判断できなくなる可能性があります。

◆データ表示【ログモード】

ハンディロガー

LOG01

ログ名 04101422 開始日時 08/04/10 14:22:10 データ数 145
 収録間隔 00:00:01 終了日時 08/04/10 14:24:33
 作業者 伊崎マコシヤ1 コメント ログ01

マーク	No	収録日時	CH1 [°C]	CH2 [°C]	CH3 [°C]	CH4 [°C]
	1	2008/04/10 14:22:10	23.1	23.3	23.5	▼ 23.2
	2	2008/04/10 14:22:11	23.1	23.3	23.5	▼ 23.2
	3	2008/04/10 14:22:12	23.1	23.3	23.5	▼ 23.2
	4	2008/04/10 14:22:13	23.1	23.3	23.5	▼ 23.2
	5	2008/04/10 14:22:14	23.1	23.3	▼ 23.4	▼ 23.2
	6	2008/04/10 14:22:15	23.1	23.3	▼ 23.4	23.3
	7	2008/04/10 14:22:16	23.1	23.3	▼ 23.4	23.3
*	8	2008/04/10 14:22:17	▼ 23.0	23.3	▼ 23.4	23.3
	9	2008/04/10 14:22:18	▼ 23.0	23.3	▼ 23.4	23.6
	10	2008/04/10 14:22:19	▼ 23.0	23.3	▼ 23.4	28.0
	11	2008/04/10 14:22:20	▼ 23.0	▼ 23.2	▼ 23.4	29.5

	CH1 [°C]	CH2 [°C]	CH3 [°C]	CH4 [°C]
最大値	23.2	23.7	35.0	34.5
最小値	23.0	23.2	23.4	23.2
平均値	23.1	23.5	29.2	29.5
積算値 [Wh]	0.9	0.9	1.2	1.2
上限警報数	0	0	0	0
下限警報数	0	0	0	0

接続中 機種名: MR2041-U 機器名称: logger01 動作: ログ・モード

タイトルバーにはロガーから読み出したデータの場合は「LOG□□」(01～20)、ファイルから読み込んだデータの場合はそのファイルがある場所(パス)が表示されます。

- 【設定値】**
- ログ名 : 収録時に自動割付された8桁の数字
 (「5月23日14時56分」に収録を開始した場合、「05231456」)
- 収録間隔 : データの収録間隔
- 開始日時 : 収録を開始した日時
- 終了日時 : 収録を最後に行った日時
- 作業者 : 収録時に記録された作業者名
- コメント : 収録時に記録されたコメント
- データ数 : チャンネルあたりのデータ数
- 【収録値】**
- マーク : 収録時に付けられたデータマーク
- No. : データ番号
- 収録日時 : 収録を行った日時
- CH1～CH4 : 各チャンネルの測定値
- 【演算値】**
- 最大値 : チャンネル内の最大値
- 最小値 : チャンネル内の最小値
- 平均値 : チャンネル内の平均値
- 積算値 : チャンネル内の積算値
- 上限警報数 : チャンネル内の上限警報設定を超えたデータ数
- 下限警報数 : チャンネル内の下限警報設定を下回ったデータ数

◆データ表示【タグモード】

ハンディロガー

ロガー(L) ファイル(F) 通信設定(C) ウィンドウ(W) グラフ(G) ヘルプ(H)

タグ名 TAG01

No	収録日時	CH1 [°C]	CH2 [°C]	CH3 [°C]	CH4 [°C]	作業者名	コメント
1	2008/04/11 13:19:06	23.7	24.0	23.1	22.1	サキウシヤ1	コメント01
2	2008/04/11 13:19:08	23.6	24.0	23.1	22.2	サキウシヤ1	コメント01
3	2008/04/11 13:19:09	23.5	23.9	23.1	22.2	サキウシヤ1	コメント01
4	2008/04/11 13:19:11	23.4	23.8	23.0	22.2	サキウシヤ1	コメント01
5	2008/04/11 13:19:14	23.2	23.7	23.0	22.2	サキウシヤ1	コメント01
6	2008/04/11 13:19:15	23.2	23.7	23.0	22.2	サキウシヤ1	コメント01
7	2008/04/11 13:19:16	23.1	23.6	23.0	22.1	サキウシヤ1	コメント01
8	2008/04/11 13:19:18	23.0	23.6	23.0	22.2	サキウシヤ1	コメント01
9	2008/04/11 13:19:20	23.1	23.5	23.0	22.1	サキウシヤ1	コメント01
10	2008/04/11 13:19:22	23.0	23.5	23.0	22.1	サキウシヤ1	コメント01

	CH1 [°C]	CH2 [°C]	CH3 [°C]	CH4 [°C]
最大値	29.4	29.4	29.4	31.4
最小値	22.7	23.2	23.0	22.1
平均値	25.6	26.1	26.2	27.0

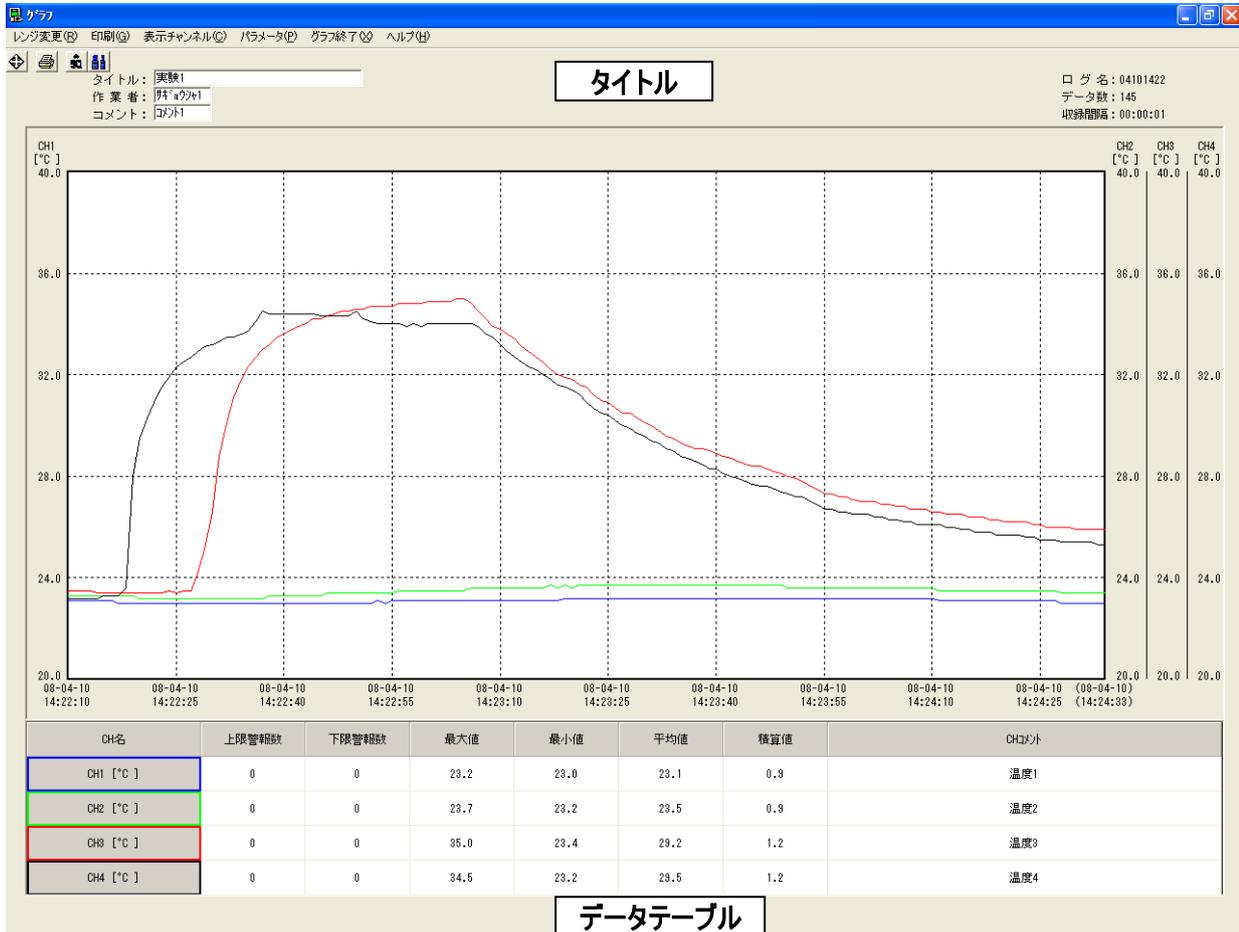
接続中 機種名: MR2041-U 機器名称: logger02 動作: タグ・モード

タイトルバーにはロガーから読み出したデータの場合は「TAG□□」(01～20)、ファイルから読み込んだデータの場合はそのファイルがある場所(パス)が表示されます。

【設定値】	タグ名	: TAG01～TAG20(変更不可)
【収録値】	No.	: データ番号
	収録日時	: 収録を行った日時
	CH1～CH4	: 各チャンネルの測定値
	作業者	: 収録時に記録された作業者名
	コメント	: 収録時に記録されたコメント
【演算値】	最大値	: チャンネル内の最大値
	最小値	: チャンネル内の最小値
	平均値	: チャンネル内の平均値

◆グラフ表示(ログモードのみ)

グラフを表示するには、データを表示した状態で、メニューのグラフ(G)→グラフ描画(D) を選択するか、ツールバーの  ボタンを押します。



タイトル

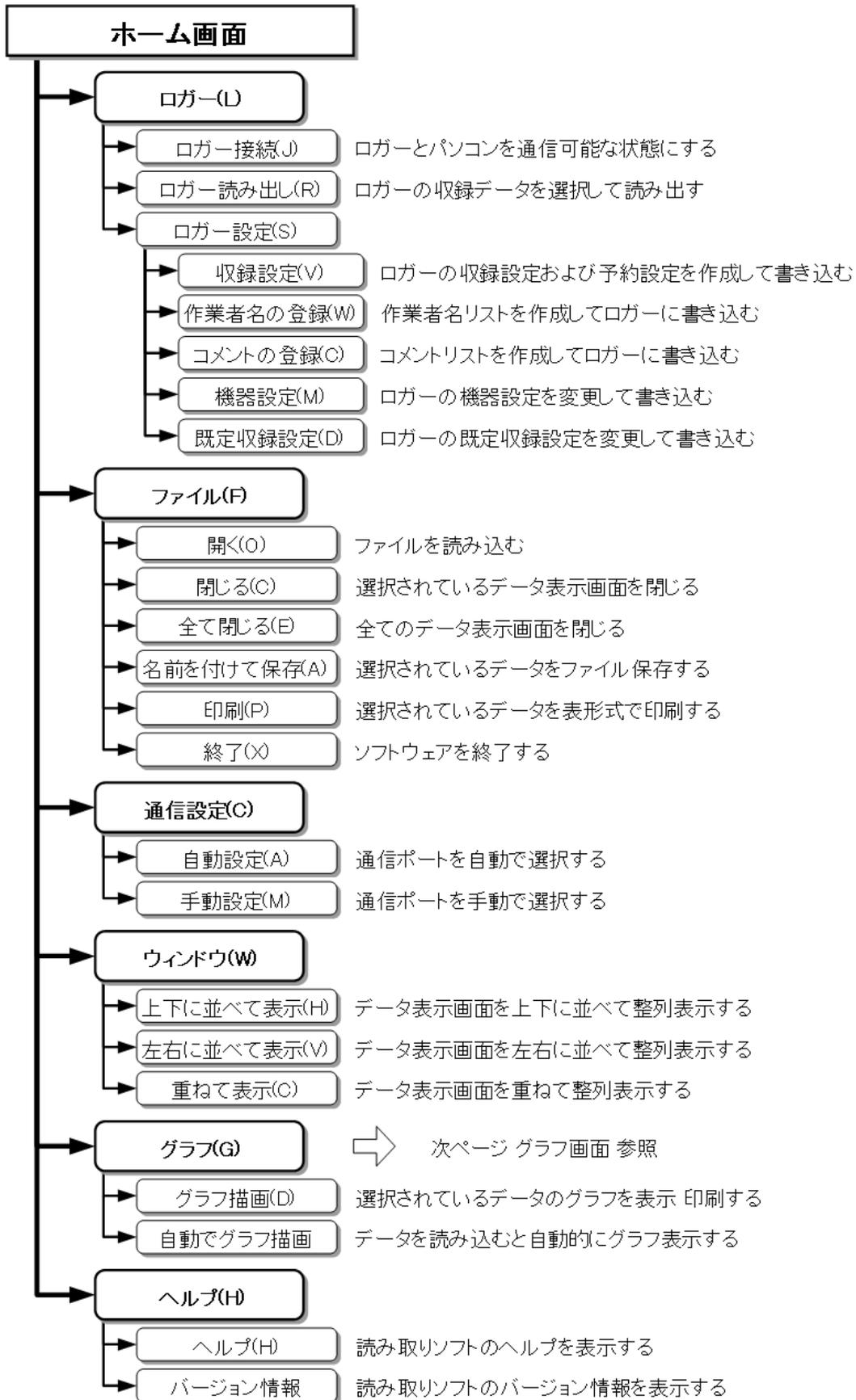
タイトル	グラフのタイトル(全角16文字まで書き込み可能)
作業者/コメント	収録時に記録された作業者およびコメント(半角8文字まで修正可能)
ログ名	収録時に自動割付された8桁の数字
データ数	グラフ表示している範囲のデータ数
収録間隔	データの収録間隔

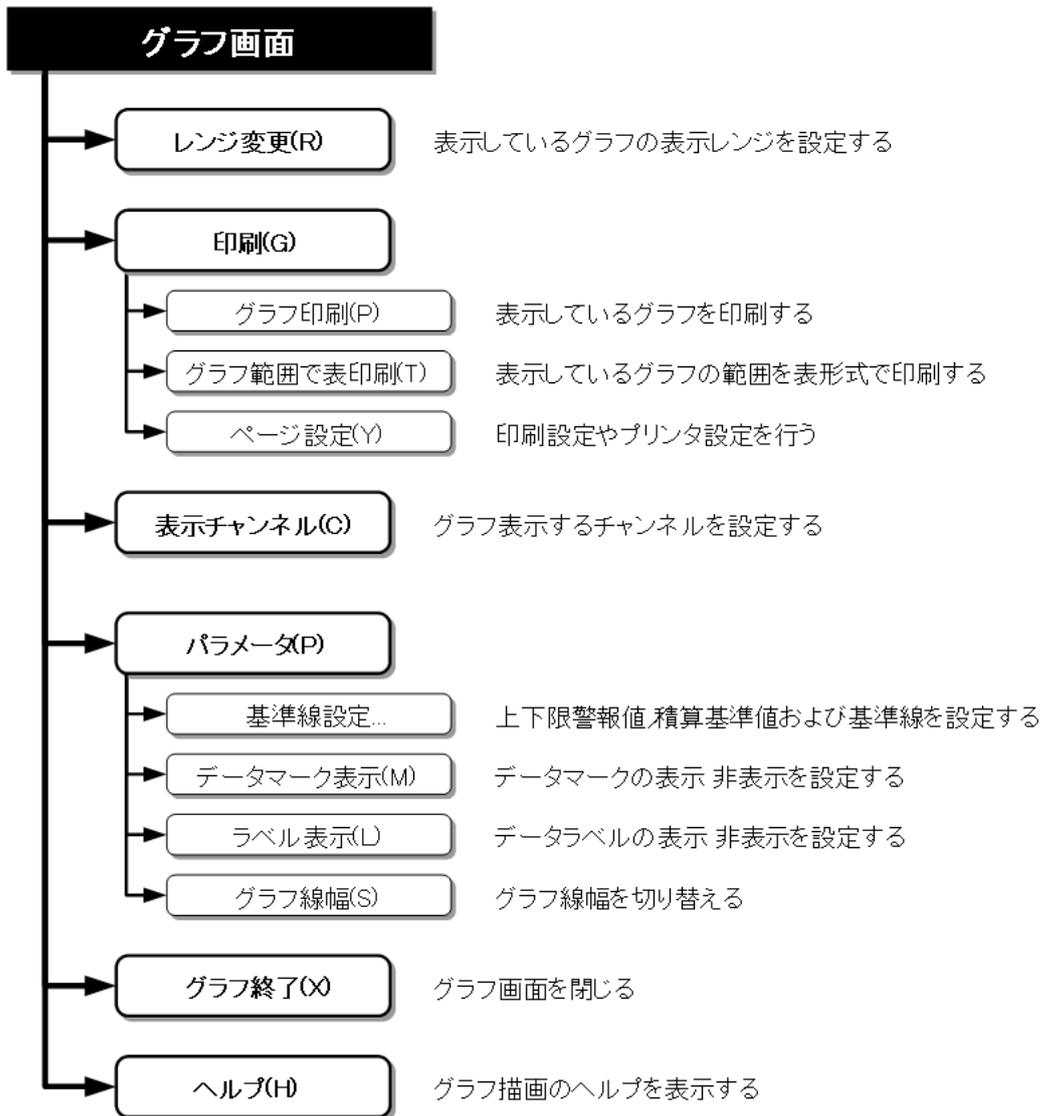
データテーブル

CH名	表示しているチャンネル番号と単位、データの線色
上限警報数	グラフ表示している範囲における上限警報を超えたデータ数
下限警報数	グラフ表示している範囲における下限警報を下回ったデータ数
最大値	グラフ表示している範囲における最大値
最小値	グラフ表示している範囲における最小値
平均値	グラフ表示している範囲における平均値
積算値	グラフ表示している範囲における積算値
CHコメント	チャンネルごとに入力可能なコメント

グラフの表示や設定の詳細は、ソフトウェアのヘルプを参照ください。

機能フロー





■トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
ロガー接続に失敗する	通信ケーブルが正しく接続されていない	通信ケーブルを正しく接続してください 「 ■ロガーとの接続 」を参照
	ロガーが通信可能状態になっていない	ロガーを通信モードにしてください 「 ■ソフトウェアの初期設定 」を参照
	接続ポートが間違っている	ソフトの通信設定で正しいポートを選択してください 「 ■ソフトウェアの初期設定 」を参照
ロガーからのデータ読み出しに失敗する	スクリーンセーバーなどが起動した	スクリーンセーバー等をOFFにしてご利用ください
ソフトの動作が遅い	他のアプリケーションを同時に多数起動している	本ソフトウェアは動作のために比較的多くのメモリエリアを必要とします。動作が遅い場合は、同時に起動するアプリケーションソフトを終了する等してご利用ください
	メモリが不足している	
	ハードディスクの残り容量が少ない	メモリ／ハードディスクともに容量が不足すると、動作が非常に遅くなる場合があります

【メモ欄】

【メモ欄】

■お問い合わせ

株式会社チノ

本 社	東京都板橋区熊野町32-8 民生機器営業部	TEL 03-3956-2111 TEL 03-3956-2131
ホームページ	http://www.chino.co.jp/	
東京支店	東京都板橋区熊野町32-8	TEL 03-3956-2205
北部支店	埼玉県さいたま市大宮区宮町 2-81 (大宮アネックスビル)	TEL 048-643-4641
大阪支店	大阪府吹田市江坂町 1-23-101 (大同生命江坂ビル)	TEL 06-6385-7031
名古屋支店	名古屋市中村区那古野 1-47-1 (名古屋国際センタービル)	TEL 052-581-7595
山形事業所	山形県天童市大字乱川 1515	TEL 023-607-2100 (代)

■コールセンター(お客様製品相談室)

電話番号	 0120-41-2070 (フリーダイヤルにより全国から無料でお問い合わせできます)
受付時間	9:00～12:00、13:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および弊社休業日を除く)
e-mail	http://www.chino.co.jp/inquiry/index.html (URLよりアクセスください)
FAX	03-3956-8308 コールセンター(お客様製品相談室)宛

◆お問い合わせの際には、ご使用の製品名・形式・製造番号を事前にご確認ください。

◆ご質問の内容によっては、折り返し回答させていただきます。(電話・FAX・Eメール)

◆保守サービスに関するご依頼は、ご購入先の担当営業所へご連絡ください。

※お聞きしました内容は弊社の「プライバシーポリシー」に沿って記録・管理しますので、あわせてご了承のほど宜しくお願い致します。